



松 明

(令和8年3月・4月号) 2026 vol.2



表紙 令和7年度 福島病院QCサークル活動発表会より

令和7年度 福島病院QCサークル活動発表会

令和7年度福島病院QCサークル活動発表会が2月27日に開催されました。QCはクオリティ・コントロールの略語で組織の『質』を職員の自己啓発によって『高め』合う活動です。職場内でメンバーを募り、テーマを自主的に選定し、1年間を通して課題解決に取り組みました。今年は10サークルが活動成果を発表し、特に成果のあった下記の4サークルが表彰を受けました。

	サークル名	テーマ・タイトル
最優秀賞	撃退!!電気カジリムシ	放射線科 電気消費量削減
優秀賞	研究検査科 タイムパフォーマンスチーム	翔んで検体不備2025 ～検査科より愛をこめて 検体不備を減らそう～ 溶血検体減ver.-
優良賞	5病棟 ポイポイ卒業隊	レジ袋の無駄使いをやめよう
審査員特別賞	薬剤科のひとりごと	簡易懸濁を推進し、調剤効率を上げよう!

QCサークル最優秀賞を受賞して …… サークル名「撃退!!電気カジリムシ」 放射線科 面川 敦子

この度、令和7年度 福島病院 QCサークル活動発表会において、最優秀賞を受賞しました。最優秀賞受賞の喜びも一瞬、電子カルテ更新で喜びの余韻に浸ることもなく時間が過ぎていきます。今回の活動はスイッチを切る!そもそも電気をにつけない!この2点でした。今この原稿を書きながら、あれ?活動って……何をした??と思えるくらい放射線科の節電は仕事、生活の一部にも大浸透してくれました。薄暗い操作室に慣れて、使用していない撮影室が点灯していればパチッと消す行動が自然と身についています。今回、5病棟の活動でもレジ袋削減で大きな節約効果がありました。一人ひとりのちょっとした当たり前の何気ない行動で、病院経営を少しでも黒字に

近づけていけたら幸いです。そしてその先には、この時期のご褒美「年度末賞与が支給される福島病院」になっているといいなと思います。令和7年度、QC活動お疲れさまでした。



●受賞した4サークルの皆さん

本号のご案内

- 令和7年度 福島病院QCサークル活動発表会 …… 1
- 療育だより ハートフェスティバル in 福島病院 …… 3
- 電子カルテ更新 …… 2
- 外来担当医表 …… 4
- 看護部だより 学校訪問はじめました 其二 …… 2

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

電子カルテ更新

医事企画連携室 算定病歴係長 相原 淳 樹

当院では、院内にサーバーを設置するいわゆるオンプレ型の電子カルテを使用していました。サーバーの老朽化やセキュリティの関係から、電子カルテの更新が必要となり、約3年前の令和5年4月から委員会及びWGで仕様書の検討に入りました。

検討の結果、クラウド型電子カルテへの変更を決定しました。決定した理由は主に次の3点です。

①常に最新版の機能を利用できる成長型のシステムであること。

機能追加、強化、改善機能の多くが保守契約に含まれ追加の費用が発生しない（オプション機能を除く）というメリットがあり、医療DXへの対応に適している。

②セキュリティ対策のレベルが高いこと。

ランサムウェア等のセキュリティ対策について、オンプレ型よりもセキュリティが高い。（サーバーの管理をベンダーが24時間365日行うため）

③災害時のデータ保護が強固であること。

建物倒壊や火災によるデータ焼失のリスクがほぼない。（東西のデータセンターで冗長化しているため2か所同時に被災しない限り、データ焼失のリスクはない）

その後、入札を行い亀田医療情報のクラウド型電子カルテ『Blanc』を導入することとなりました。

更新のため令和8年2月に電子カルテを21時間停止する必要がありました。これは、旧データをクラウドサーバーへインターネット回線でアップロードするため、長時間の停止となりました。当院では電子カルテ導入後としては、初めての紙運用となりましたが、各部署の事前準備へのご協力を頂きまして、無事に更新することが出来ました。

導入後間もないため、評価はこれからとなりますが、成長型のシステムであるため、今後のさらなる機能改善に期待したいと思います。



看護部だより

学校訪問はじめました 其二

看護部 副看護師長 高橋麻美・星 百香利・大野麻衣子

【中学校訪問】 1月29日、須賀川第二中学校の1年生を対象に、看護や医療の仕事を知ってもらうための講話と看護体験を行いました。講話では、看護師の一日や進路選択について紹介しました。看護体験では、9つのブースを作り、バイタルサイン測定や模擬採血、点滴の速度調節、心肺蘇生などを実施し、生徒たちは真剣な表情で講話を聴き、体験では生き生きと取り組んでいました。体験後には、「看護師はとても大変な仕事だとわかりました」「看護に興味が湧きました」などの意見が聞かれ、医療や看護への理解を深める機会となりました。



【高校訪問】 2月13日、須賀川創英館高等学校を訪問し、2年生を対象に看護師の仕事についての講話と、採血やAEDの体験を行いました。当日は、看護師や保健師、医療系の職業を目指している7名の学生が参加して下さり、積極的に質問してくれる姿や看護ケアの体験に取り組む姿が印象的でした。前回訪問した1年生から災害に関する質問が多くあり「自分たちに何ができるのか」を真剣に考えている様子がみられました。今回の体験が、将来の進路を考えるきっかけの一つになれば嬉しく思います。



重症心身障がい児（者）病棟では、「ハートフェスティバル」と題し、バレンタインデーにちなんだ行事を開催しました。はじめに、サプライズゲストが登場！！保育士や指導員、看護師から構成された福島病院限定アイドル「福島ハートエンジェルス♡」です。フリフリの衣装に身を包んだスタッフに患者さんたちは目を輝かせていました。「バレンタインデーキス」のダンスや、患者さん同士が向き合って大きなハート型の風船を飛ばすゲーム、様々な場所に隠されたパズルピースを探すパズルゲームを行いました。会場が一体となり各病棟、大い

に盛り上がりました。今後も患者さんが楽しめるような行事を企画していきたいと思います。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和8年4月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋	安田千尋		
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	杉浦嘉泰	伊藤英一		杉浦嘉泰
小児科		福島医大 氏家二郎	石井勉	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)		氏家二郎	石井勉			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

- 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。
- 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和8年4月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

いつも通る道で春の咲くつぼみを見つけました。木々の柔らかな葉が風に揺れる音、鳥のさえずりを聞くと春の音を感じます。山の幸といえばタラの芽、たけのこも待ち遠しいですね。花冷えの折、くれぐれも手洗い・うがいをしっかりしてお身体には十分に気をつけてください。
(編集委員 F・M)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>